



〈会員の窓 21〉

淀川愛好会とのつながり

仁 枝 洋



淀川愛好会の皆さま、毎年2月に開催されます桂川クリーン大作戦では、多くの方々のご参加を賜り、紙面をお借りしまして御礼申し上げます。当初26団体、460人でスタートしました。桂川クリーン大作戦も第8回を迎えます。お陰さまで208団体、3400人の市民清掃活動に発展して参りました。川の清掃活動と同時に川にゴミを捨てない、ゴミの持ち帰り運動も併せて行っています。桂川がゴミのない、山紫水明の美しい、多くの生き物が生息する自然豊かな「世界に誇れる川」を目指し活動を行っているところでございます。第8回は平成27年2月22日（日）に開催します。今回から支流を含め『桂川流域クリーン大作戦』一きれいな川はみんなの願いを合言葉に開催されます。淀川愛好会の皆さまのご参加をお待ちしております。ありがとうございました。

さて、私が淀川愛好会へのご縁を頂いたのは、現在顧問としてお元気にご活躍の井上治先生のご紹介でした。河川のご専門の先生がお見えになられたこと、淀川愛好会ができたこと等の情報を頂き、さっそく入会し澤井健二先生をご紹介いただきました。第3回世界水フォーラム京都開催終了後、桂川流域ネットワーク設立時には澤井先生から情報を頂き入会し、以来今日迄ご縁を頂いている所でございます。愛好会ではEボート（当時は白いファルトボートでした）に取りつかれ、Eボートの行くところ、行事に参加しては楽しんでいます。これからは交流会にも参加しなければいけないなあ～！と考えております。

今後共どうぞよろしくお願い申し上げます。

（淀川愛好会会員・淀納所桂川愛護会）

イベント案内

淀川流域天然アユの見聞、天然アユの味くらべ

今年も京都大学防災研究所にて天然アユの見聞、味くらべが行われます。皆様のご参加をお待ちしております。



日時：10月19日（日）10：00～17：00

場所：京都大学防災研究所宇治川オープンラボラトリー

淀川愛好会 秋のイベント

淀川愛好会「秋のイベント」を下記のように開催いたします。今年、岐阜県伊吹山東麓の独特の水環境を体験していただきます。多数のご参加をお待ちしております。



日時：11月9日（日）10：30～15：30

場所：岐阜県不破郡垂井町

（詳細は3ページをご覧ください）

イベント報告

近畿水環境交流会 in 淀川・寝屋川市

7月26日(土)・27日(日)に淀川愛好会主催の大阪府寝屋川市で「近畿水環境交流会 in 淀川・寝屋川市」を開催しました。1日目の午前は施設見学会を行い、寝屋川せせらぎ公園、幸町公園、川勝水辺ひろば、大阪府水生生物センター、淀川河川公園点野地区を上田豪氏(ねや川水辺クラブ)のガイドを交えながら見学しました。午後は摂南大学スカイラウンジでシンポジウムを行い、田村公一氏(元河川環境管理財団大阪事務所所長)による特別講演「淀川中流域の最近の状況」をはじめ、ねや川水辺クラブの活動報告や、ウォーターステーション琵琶の会、桂川流域ネットワーク、木津川流域ネットワーク、摂南大学石田ゼミ・エコシビル部・PBLプロジェクト、大和川市民ネットワーク、武庫川流域圏ネットワーク、紀ノ川の環境を守る会、近畿子どもの水辺ネットワークからの活動の紹介がありました。シンポジウム後、摂南大学スカイラウンジにて懇親会を行いました。2日目は、午前中は点野地区に行き、河川清掃をした後、淀川まるごと体験会として笛づくり、魚とりなどをしました。午後は昼食をとったあと、ゲリラ豪雨の影響により中止が危ぶまれましたが1レースのみEボートレースが行われました。結果は、1位が摂南大学OBでした。2日間合わせて170人ほどの参加者がありました。2日間に亘っての活動で大変でしたが、無事イベントを終えることができて良かったです。



田村公一氏の講演の様子



Eボートレースの様子

天若湖アートプロジェクト2014

8月9日・10日に予定されていた天若湖アートプロジェクト2014「あかりがつなぐ記憶」は、台風11号の影響によって中止となりました。今後、関連する行事がございますので、ぜひご参加ください。(詳しくは天若湖アートプロジェクトのホームページ(<http://amawakaap.exblog.jp>)をご覧ください。)

第5回 幸町公園水辺のつどい

8月30日(土)に、ねや川水辺クラブ等主催の「幸町公園水辺のつどい」が寝屋川市幸町公園で行われました。当日は、天候も良く、約50名の参加がありました。生物調査、水質調査、カヌー乗船、バーベキュー等を行いました。生物調査では、石田ゼミがタモ網で採取した生物を子供達が観察しました。水質調査では調査の結果、DOが7.62(mg/L)、pHが7.25、ECが20.8(mS/m)となりました。生物もたくさんいたので、幸町の水質は生物にとってすみやすい環境であることがわかりました。ボート乗船では子供達自らパドルを持ち、約20メートルの間を数往復しました。下船後、楽しかったと満面の笑顔で答えてくれました。バーベキューでは、エコシビル部が焼いてくれた肉を参加者全員で頬張り、参加者の皆さんと交流を深めることができ、楽しい1日となりました。



ボート乗船の様子

巨椋池流域模型ビオトーププロジェクト

現在、京都大学防災研究所宇治川オープンラボラトリーにて、摂南大学名誉教授・澤井健二先生指導の下、巨椋池流域模型ビオトープ製作が進行中です。昭和5年以前に京都府久御山近辺に巨椋池という大きな池が存在していたのはご存じの通りですが、今回は巨椋池の200分の1スケールのビオトープを製作します。主に、淀川水系の治水および環境保全についての研究を行い、また当時池に自生していた植物(蓮)などの一部を再現し、自然環境と文化の模擬体験も行えるようにするのが目的です。さらに、巨椋池周辺の地形(三川合流点など)の再現も行い、また巨椋池周辺の防災研究にも役立てると期待されます。土木工事は9月末終了予定です。9月10日現在の作業状況は、等高線を引きレベルを使用して実際の巨椋池の水深と同じ深さになるように地面を掘っているところです。しかし工期が予定より遅れており、さらなる作業効率アップが必要です。次回のヨドリックニュース発行時期には工事が終了予定ですので、完成の詳細は次号に掲載予定です。



土木工事の様子

エコシビル部が「おおさか環境賞」で府民活動部門「大賞」 第7回いい川・いい川づくりワークショップで準グランプリ W受賞！

淀川流域で活躍している摂南大学エコシビル部が9月1日、大阪府公館で開催された大阪府民会議が主催する「おおさか環境賞」の授賞式で、府民活動部門「大賞」を受賞しました。また、9月20、21日に東京で開催された第7回いい川・いい川づくりワークショップで準グランプリとパフォーマンス賞を受賞しました。今回、学生自身が主体的に活動へ参画し、地域の方々や各種団体と連携を深めながら、親水活動や環境保全活動に取り組んでいる点が高く評価されました。イベントの際に一緒に活動している団体であるため、とてもうれしく思います。(詳しくは摂南大学のホームページ(<http://www.setsunan.ac.jp/news/detail.html?id=928>)をご覧ください)



表彰状を手に笑顔一杯のエコシビル部員たち

今後のイベント詳細

淀川愛好会 秋のイベント

日時・場所 2014年11月9日(日) 岐阜県不破郡垂井町

イベント内容 今回の淀川愛好会 秋のイベントでは、岐阜県不破郡垂井町にてNPO法人泉京・垂井理事(桂川流域ネットワーク前代表)である神田浩史氏にご案内いただき、伊吹山東麓の独特の水環境を体験します。垂井町の様々な場所を見学し、また、交流や意見交換も行います。



タイムスケジュール	08:30	摂南大学発(大型観光バス)
(予定)	09:10	京阪電車中書島駅南口バスターミナル付近で、京都からの参加者乗車
	10:30	垂井駅前到着
	10:30~12:00	マンボ見学と管理主体(水土里ネット・野上)の人々との交流・意見交換
	12:00~13:00	昼食 …地産地消のお弁当を1000円程度でご用意しています。
	13:00~13:45	垂井の泉ほか泉2カ所見学 …垂井の語源ともいわれる垂井の泉の周辺には地域コミュニティ管理による飲用可能な泉が2カ所あり、見学します。
	13:45~14:30	ガマとハリヨ池見学 …垂井町最東端の表佐地区には数多くのガマ(湧水)が存在し、活用されています。その中の最大のガマと近隣地にあるハリヨ池を見学します。
	14:30~15:30	NPO法人 泉京・垂井事務所 交流・お買い物 …美濃一ノ宮・南宮大社の門前の古民家にある事務所にて泉京・垂井のスタッフとの交流ならびにお買い物。ご希望があれば参拝も可能です。
	15:30	垂井駅前発
	16:50	京阪電車中書島駅で京都からの参加者下車
	17:30	摂南大学着

持ち物 飲み物

参加費 1000円(昼食代として)

申し込み先 淀川愛好会事務局(10月末日締切)

摂南大学



私は、1回生の時にエコシビル部に入部しました。活動自体はとても面白くてほぼ毎回のように参加しましたが、私は人見知りでコミュニケーション力がなかったため、1回生の間ほとんど部員と会話ができませんでした。なので、どのようにすればいいのかを先輩方に相談しました。そこで言われたことは「自分を変えろ」でした。この言葉を目標にし、まず行ったことは、部員に挨拶をすることで、話すきっかけを作り、少しずつ部員との仲を深めていきました。イベントごとに積極的に行動していくことで自分が変わっていくことがわかりました。その結果、先輩方に「変わったな」と言ってもらえるようになるくらいまでに成長しました。

そして、3回生の時にエコシビル部の副部長に任命されました。1、2回生の時のように、ただ活動を楽しむだけでなく周囲に気を配らなくてはならないので、活動の時は非常に疲れました。しかし、疲れることばかりでなく、外部で活動されている方々に自ら電話をし、協力して活動を行い、交流を深めることなどとてもいい経験をすることができました。

4回生になり私は石田ゼミに所属しました。石田ゼミでの活動はエコシビル部で行ってきた活動と似ているところがあったので、ある程度は活動の内容がわかっているつもりでした。実際うまくいかないことの方が多かったですが、同期の仲間たちと共に協力することで乗り越えられました。そこで仲間の大切さを改めて実感することができました。

私はたくさんのイベントに参加することで多くの事を学び、経験を積んできました。これらは私にとってかけがえのないものとなりました。この経験を活かし、これからも成長していきたいです。

(摂南大学理工学部 都市環境工学科 4回生 就職先：三井住建道路株式会社)

会員募集・寄稿のお願い

淀川愛好会では、淀川に興味・関心のある方のご入会をお待ちしております。ご入会を希望される方は淀川愛好会事務局へ随時ご連絡ください。また、「会員の窓」も随時募集しています。

編集後記

現在、京都大学防災研究所宇治川オープンラボラトリー構内に、かつて周辺地域の治水および環境保全に重要な役割を果たしていた

、ありし日の巨椋池の縮小模型ビオトープが、近畿建設協会の研究助成による「巨椋池資料の活用と模型ビオトープ製作による地域防災・環境学習支援プログラムの開発」(研究代表者：中川一京大防災研教授)プロジェクトの一環として製作中です。

事業は、本紙で紹介されていますが、共同研究者の澤井健二先生および石田裕子摂南大学理工学部准教授が中心になり、石田研究室の卒研究生や摂南大学文化会エコシビル部の部員、そして支援者らの協力で、本年度の公開ラボ日〔10月26日(日)〕までの完成を目途に進められています。

過日、澤井先生から製作関係者らに設計の内容、完成後の利用・期待される効果、そして具体的な作業内容などの説明がありました。聴いてワクワクするような内容でした。約50米四方の敷地に収められる、日焼け顔の中に瞳を輝かせている澤井少年の夢がいっぱい詰まった作品の完成が待ち遠しいですね。

編集長 相本太刀夫(元摂南大学薬学部教授)